

令和3年度  
三松中学校  
学校だより



# 三松魂

令和4年  
1月7日(金)  
校長 肝付 正籍



令和4年(2022年)が幕を開けました。保護者の皆様、地域の皆様、明けましておめでとうございます。昨年もコロナ禍の中、大変お世話になりました。本年もこれまで同様、本校へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

さて、学校では、昨日から2学期後半が始まり、また子どもたちの元気いっばいの声が響き、活気が戻ってきました。令和3年度も残り3か月となりますが、全校生徒及び教職員一同、何事にも全力で頑張っていきたいと思っております。それでは、今号もどうぞお楽しみください。

## 「絆をつなぐ」・「今」を大切に

昨日の全校集会において、大きく2つのことについて話をしましたので取り上げたいと思っております。

1つ目は、「絆をつなぐ」ということ。毎年私の正月は「駅伝」中継に釘付けになるのですが、特に箱根駅伝には、一生懸命走る大学生の姿に感動を覚えます。この駅伝を通して、「どんなときにも全力で頑張る姿」、「様々な人やものへの感謝の気持ち」、「上級生が下級生に伝える伝統」など多くの学ぶべき点があります。三松中学校でも、3月にはそれぞれの学年に「たすき」を渡すこととなります。これから始まる2学期後半は、その絆がしっかりと渡せるように、それぞれの学年でまとめをする時期。学習面や生活面などでのやり残しがないよう、やるべきことをしっかりとやり遂げ、次の学年や新たな進路につなげてほしい。

2つ目は、「今を大切にすること」ということ。「一年の計は元旦にあり」、それぞれが新たな目標や夢に向かって精一杯努力してほしい。卒業まで47日、進級まで53日。時間は限られています。一日一日を、「今」という一瞬一瞬を大切に過ごしていくことが目標実現に向けて大きく前進することになると思います。「今」、頑張らずに「そのうちに」とか「後で」とか言い訳をしていい加減に過ごしていれば、そのいい加減さの延長にある「未来」もいい加減になってしまう。「未来」を輝かしいものにするためには、「今」できること、やるべきことに全力を尽くしてほしい。

全校生徒が、この2つの話をしっかりと受け止め、残り3か月の学校生活をさらに充実したものにしてくれることを期待したいと思います。

保護者の皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。



## 生徒集会～第4期活動へ～

12月22日(水)に「生徒集会」が行われ、各専門委員会における第3期の反省及び第4期の目標に向けた具体的な取組について専門委員長、副委員長から発表がありました。新生徒会組織がスタートして、約3か月が経とうとしていますが、それぞれに主体的な取組が見られるようになり、成長とともに頼もしさを感じています。

常々話をしている通り、生徒会の活性化が学校全体の活性化につながります。それぞれの取組がしっかりと展開され、よりよい三松中学校へと成長してくれることを期待しています。



## おやじ学級～門松づくり～

12月18日(土)に「おやじ学級」で門松づくりを行いました。学級生と職員併せて11名での作業でしたが、熟練の技をもって段取りよく、1時間半ほどでとても立派な門松ができました。今回の門松設置は例年よりも1週間早く行われたため、生徒の目にもたくさん触れることができ、良かったです。気持ちの良い新年を迎えることができました。ご協力いただきましたおやじ学級生に心から感謝いたします。

## 新型コロナウイルス感染症防止について

一旦落ち着きを見せていた新型コロナウイルス感染症が少しずつ増加傾向にあります。今回は新たな変異株である「オミクロン株」の市中感染が各地で報告されており、今後の感染拡大が大変心配されます。本校においても改めてマスクの着用、手洗い・手指消毒の徹底、3密を避ける等、基本的な感染症対策の更なる徹底に努めていきたいと考えておりますが、保護者の皆様におかれましても、引き続き感染予防対策へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

三松中学校

検索



三松中ホームページも、ぜひご覧ください！